

また、ごみ収集車から発火！！

平成28年10月26日（水）午前10時50分頃、洋野町種市宿戸地区にて不燃ごみの収集中、収集車両から発火しました。作業員の迅速な対応により、幸いにも大事には至りませんでした。消防車や救急車、パトカーも出動し、現場は一時騒然となりました。発見が遅ければ大惨事につながる可能性もありました。



原因は、不燃ごみを収集車に積み込んだ際、何らかの原因でスプレー缶等から漏れた可燃性ガスに引火したものと推測されます。また、回収された不燃ごみの中には、中身が残っていたり、使い切った後に穴が空けられていないスプレー缶が多数見つかりました。

久慈広域管内では、ごみ収集中の車両火災が相次いで発生しています。その火災はすべて「不燃ごみ」の収集中に発生したものです。

車両火災は、収集作業員のみならず近隣の住民にも大きな危険を及ぼします。

「スプレー缶はガスを出し切り、屋外の安全な場所で穴を開けて出す」

「ガスレンジやストーブの着火装置の電池は取り外して出す」

「ファンヒーター等の灯油は完全に抜き取って出す」

以上、不燃ごみの排出時のルールを守っていただくよう、皆様のご協力をお願いします。